



Analog Contemporary Series Master User Guide

VTech CTM-A2411 ホテル電話機

ユーザーガイド

安全のしおり

本電話機をご利用の際、以下の安全のしおりに従いご利用下さい。

1. 本製品の設置は技術者が行って下さい。
2. 本製品は直接公衆交換電話網 (PSTN)、基本電話サービス(POTS)に直接接続しないで下さい。
3. 取扱説明書の内容をお読み下さい。
4. 本製品に関するすべての警告に従って下さい。
5. クリーニングの際はコンセントから電源アダプターを取り外し、水気を絞った布を使用し、液体やエアゾールクリーナーのご使用は避けて下さい。
6. 浴槽、洗面器、台所シンク、洗濯機、水泳プール、湿度の高い地下室やシャワー室での本製品のご使用は避けて下さい。
7. 本製品を不安定なテーブル、棚、スタンド等に設置しないで下さい。
8. 電話機の裏やハンドセットの下の方にある小さな穴は通気口です。熱がこもらないように、ベッド、ソファ、及び敷物等で覆われてしまうような場所は避けて本製品を設置して下さい。本製品はラジエーターや暖房の喚起調節弁の周辺、適切な喚起が行われない場所には設置しないで下さい。
9. 本製品はラベルで示した電源が確保できる場所で起動して下さい。ラベルで示された電源が確保できているか不明な場合は、本製品の取り扱い業者又は代理店にお問い合わせ下さい。
10. 電源コードの上に物を載せないで下さい。本製品のコードの上を通行者が通るような配線はしないで下さい。
11. 電話機本体やハンドセットの通気口に物を詰めてふさいでしまうと危険な電圧部位に触れ、やショートしてしまう可能性があります。また、本製品に液体をこぼさないようにして下さい。
12. 感電を防ぐため、指定修理施設以外では本製品を分解し、電話機本体やハンドセットの部品を取り出さないで下さい。間違えて組み立てなおした場合、本製品の使用中に感電する可能性があります。
13. コンセントに過負荷を掛ける事、延長コードの使用は避けて下さい。
14. 以下の状況の場合、本製品を壁側のコンセントから抜き、取扱業者にご相談下さい。
 - 電源コードやプラグが破損した場合
 - 製品に液体をこぼした場合
 - 製品が雨や水に濡れた場合
 - 取扱説明書に従い使用しても製品が機能しない場合
(不適切な調節は本製品に損傷を与え、修理が必要になることがあります。取扱説明書に従い調節して下さい。)
 - 製品を落下してしまった場合
 - 製品の動作に異常がある場合
15. 雷雨時はコードレスハンドセットを使用し、電話機本体のご利用を控えて下さい。落雷の場合、感電する場合があります。
16. ガス漏れの際、本電話機を使用して通報しないで下さい。発火性のガスが電話機の周囲に充満している場合、十分な喚起をしない状況で電話機の電源コードを壁側のコンセントから抜いたり、ハンドセットを充電器に置いたりしないで下さい。電話機からの火花で爆発する可能性があります。また、十分な喚起をしていない状況で医療用の酸素ボンベや洗浄液、ガソリン蒸気などを含む工業用ガスをを用いる場合、天然ガスが充満している場合などの環境下でも爆発の可能性があります。
17. 通常の通話時のみハンドセットをご使用下さい。

18. 電源アダプターは壁又は床に面した方向でご使用下さい。天井、テーブルの裏側、又はキャビネットのコンセントには繋がないで下さい。
19. 本取扱説明書で示す電源コードとバッテリーをご利用下さい。廃棄をする際は、爆発を避けるため、各自治体の廃棄方法に従って下さい。
20. 壁へ電話機を設置する場合はしっかりと固定されているかご確認下さい。詳しい設置方法は以下の「**設置方法**」のセクションを参照して下さい。
21. **注意**：ハンドセット受けにはクリップやホチキスの芯などの小さな金具を置かないようにして下さい。
22. **注意**：電話機本体に付属しているバッテリー以外を使用した場合、爆発の危険性があります。付属品の型番 **BT264392/BT266342** のバッテリーを使用するか、交換用のバッテリー型番 **BT266342** をご使用下さい。本取扱説明書の「**製品の廃棄方法**」のセクションの説明に従い、バッテリーを廃棄して下さい。
23. バッテリーは可燃物として廃棄しないで下さい。爆発の危険性や有毒化学物質が漏れる可能性があります。

本説明書を保存して下さい。

内容物一覧



電話機本体

付属：フェイスプレート

フェイスプレート保護シート



コードレスハンドセット



マウント台



ネジ 2 本



電源アダプター

付属：RJ-45 コード)



電話線

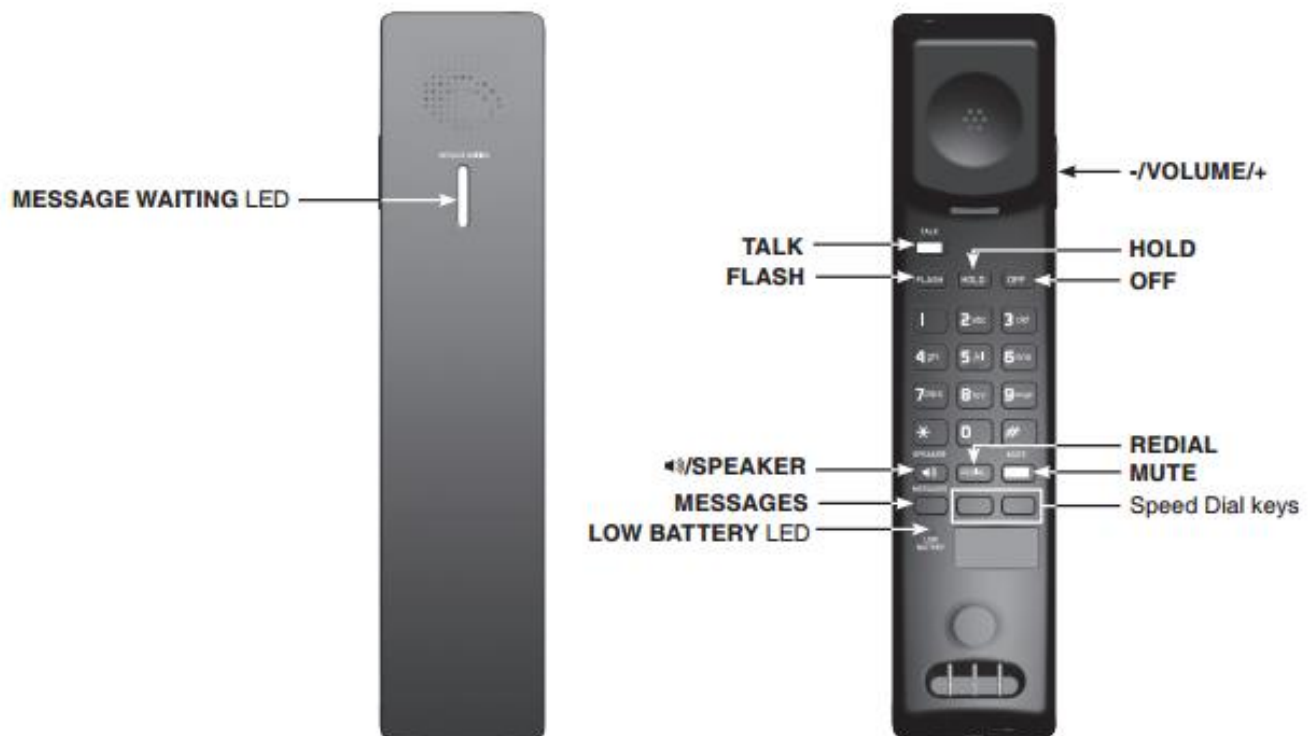


バッテリー

CTM-A2411

バッテリー	本体電源アダプター
サイズ：単 4 形 2 個相当	
2.4V	6VDC
550mAh	600mA
NiMH	RJ-45

各部の名称 (CTM-A2411)



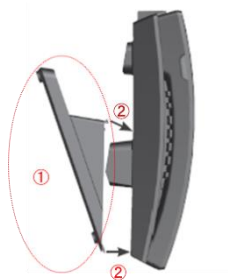
設置方法

1. 電話機本体の設置方法

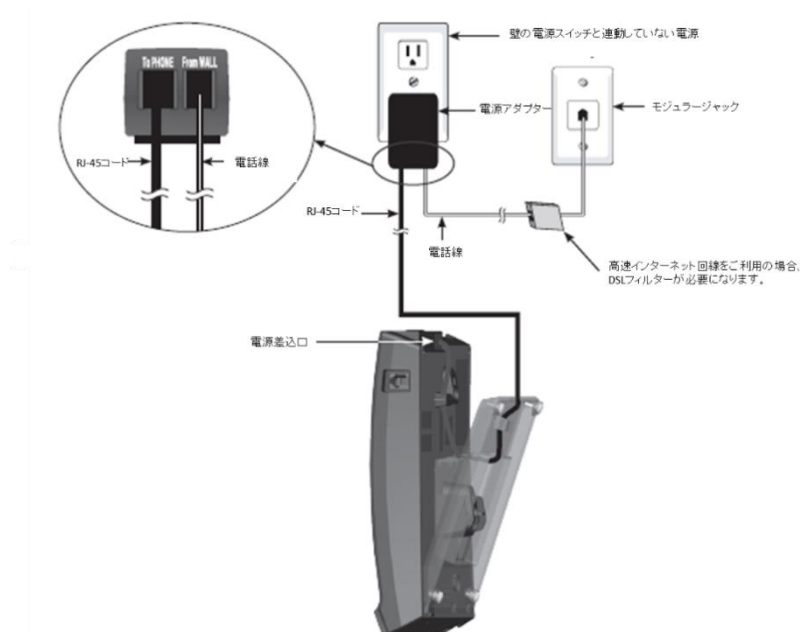
本機は机上、若しくは壁掛けとして使用できます。

2. 設置のオプション 机上での設置方法

1. 電話機本体を裏にし、①（マウント台）を本体の裏側の②（溝の部分）に取り付けて下さい。



2. 電源アダプターを壁の電源のスイッチと連動していないコンセントに差し込んで下さい。



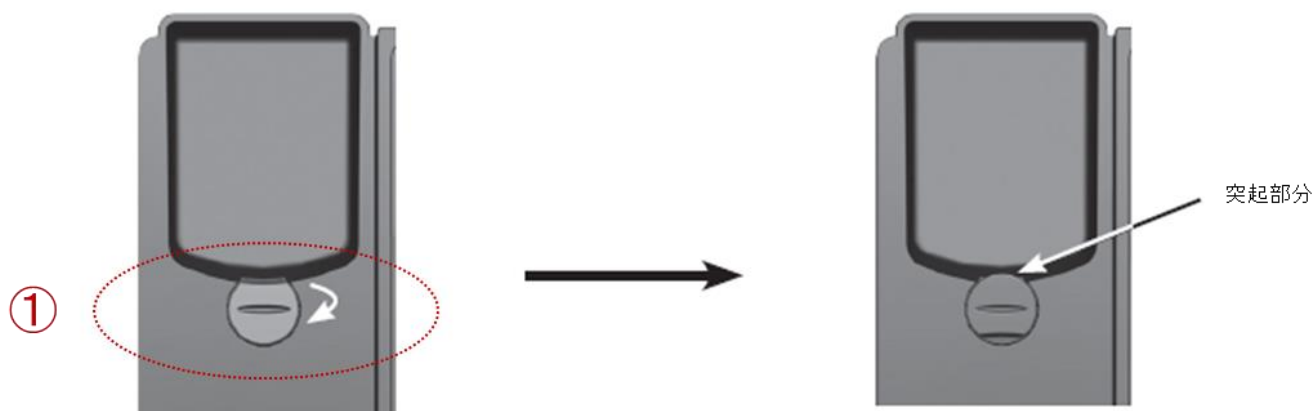
3. 電源と電話線を電話機本体に繋ぎ、SPEAKER を選択して下さい。ハンドセットを上げ、発信音が聞こえるか確認して下さい。

注意：

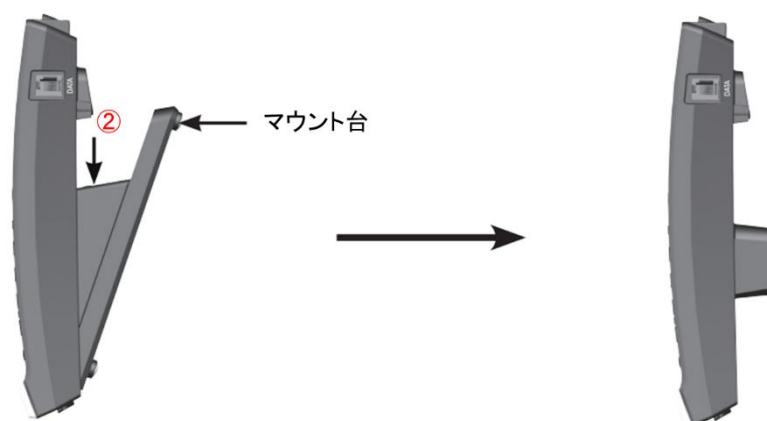
付属の RJ-45 コードと電源アダプターをお使い下さい。ご購入は日本総代理店の株式会社ソフトソーまでご連絡ください。<http://hotelphones.softsu.com/> Tel: 03-4455-7300 RJ-45 コードは本機以外の IT 機器には対応していません。本機以外での誤用は禁じられています。

3. 設置のオプション 壁掛けでの設置方法

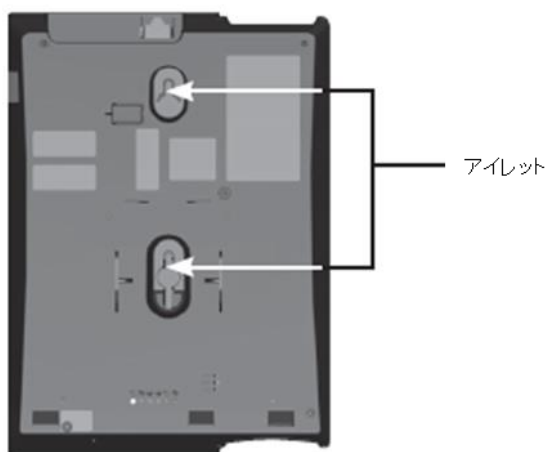
1. 電源アダプターと電話線を電話機本体から外して下さい。
2. ハンドセットを外し、コインを使って下図①の部分を 180 度回転させ、ハンドセットを引っかけて固定できるように設置して下さい。



3. 電話機本体裏側のマウント台を外して下さい。②にある爪の部分を押して取り外すことができます。



4. 壁面への設置には、電話機本体の裏側にあるアイレットをご利用下さい。

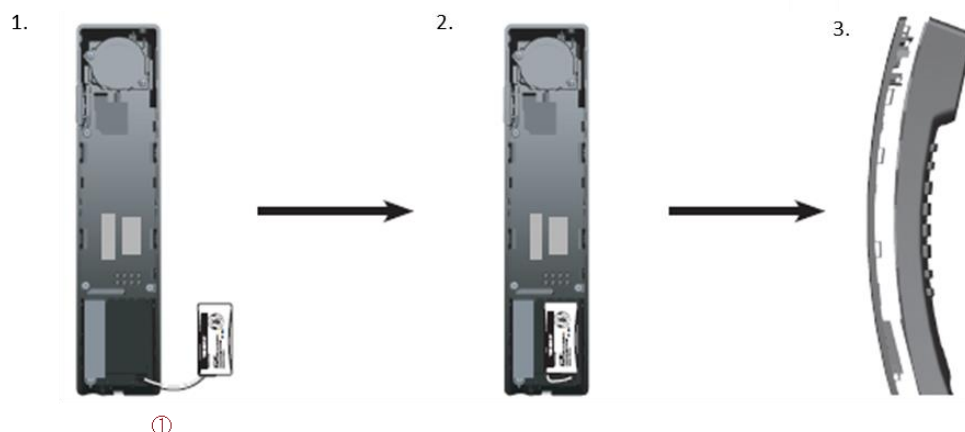


5. 電源アダプターと電話線を電話機本体に接続し、壁側の電源とモジュージャックにそれぞれ配線し、ハンドセットを本体に設置して下さい。

4. ハンドセットのバッテリー取り付け方法

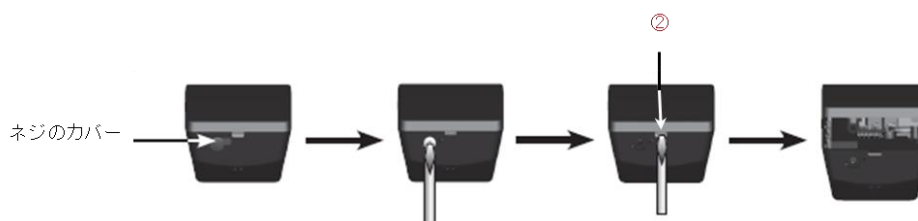
以下に示す方法でバッテリーの取り付けを行って下さい。

1. 以下の図に示す部分①にあるコネクター部分とバッテリーをしっかりとつないで下さい。
2. バックアップバッテリーの表面に「THIS SIDE UP」と表記している面を上にしてバッテリーを設置して下さい。
3. ハンドセットとハンドセットカバーの突起部分の位置を合わせ、強く押して蓋をし、ハンドセットの上と下にあるネジを締めて下さい。

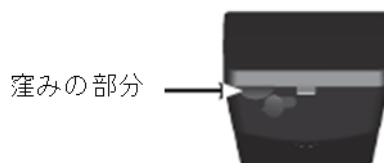


5. ハンドセットのバッテリー交換

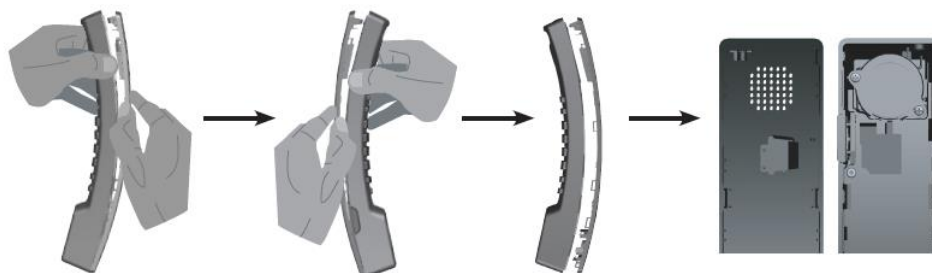
1. ネジのカバーを開け、5 mm幅のドライバーを用いてネジを取り外して下さい。
2. 以下の図に示す②の部分にドライバーを挿入し、90° 回してカバーを外して下さい。



若しくは、ハンドセットの下にある窪みの部分を使って、カバーを開けて下さい。



3. 親指を使い、ハンドセットの脇にある引っかけ部分からハンドセットカバーを外して下さい。



4. バッテリーの接続部分をソケットから外してから取り出して下さい。
5. 前述のバッテリー取り付け方法に従い、新しいバッテリーと交換して下さい。

注意：

- 本機対応以外のバッテリーを使用した場合、爆発の原因になる可能性があります。充電可能なバッテリーは BT264392 と BT266342 です。ご購入をご希望の場合は日本総代理店 ([株式会社ソフツー](http://hotelphones.softsu.com/)) へご連絡下さい。
- 使用済みのバッテリーは、21 ページ『5. 製品の廃棄方法』に従い破棄して下さい。

6. ハンドセットの登録

電話機本体とハンドセットのペアリング

1. 電話機本体上でのコードレスハンドセットとのペアリング：
電話機本体にコードレスハンドセットを置くと、自動でペアリングを開始します。完了後 MESSAGE WAITING LED が一度点灯し、ビープ音が鳴ります。一台の電話機本体で最大で 4 台のコードレスハンドセットとペアリングできます。4 台のコードレスハンドセット使用時、別のハンドセットを使用する場合は一度ペアリングを解除してから使用するコードレスハンドセットのペアリングを行って下さい。
2. 受け台の外からのペアリング：
電話機本体が待ち受け時に、電話機本体で **123** とダイヤルし、**HOLD** を押して下さい。ビープ音が鳴り、電話機本体の MESSAGE WAITING LED が 90 秒間点灯します。コードレスハンドセット側でも **123** とダイヤルし、**HOLD** を押して下さい。ハンドセットの MESSAGE WAITING LED が 90 秒間点灯します。ペアリングができると親機子機それぞれでビープ音が鳴ります。4 台のコードレスハンドセットをペアリング時に、他のハンドセットをペアリングする場合は、まずペアリングしているハンドセットのペアリングを解除して下さい。

7. ハンドセットのペアリングの解除

ペアリングを行ったコードレスハンドセットが待ち受け状態の時に、***331734#**を選択して **HOLD** を選択して下さい。ビープ音が鳴り、ハンドセットのペアリングが解除されます。

8. ハンドセットのバッテリーの充電

初めてコードレスハンドセットを使用する場合、バッテリーの充電を完全にしてからご利用下さい。コードレスハンドセットが電話機本体、充電器、及びコードレスハンドセットの縦型充電器台で充電されている際、CHARGE LED が点灯します。バッテリーが完全に充電されるまでには 16 時間かかります。快適に電話機をお使いいただくために、電話機を使用していないときは充電台に設置し、充電を行って下さい。

電話設定

*は初期設定を示します。

設定	オプション	権限
通話音の音量－ハンドセット	1, 2, 3, 4*, 5, 6	ユーザーと管理者
スピーカーフォンの音量－ ハンドセット	1, 2, 3, 4*, 5, 6	ユーザーと管理者
スピーカーフォンの音量－ 電話機本体	1, 2, 3, 4*, 5, 6	ユーザーと管理者
呼び出し音の音量－電話機本体	1, 2*, 3	ユーザーと管理者
呼び出し音の種類－電話機本体	Tone1*, Tone2, Tone3	管理者のみ
フラッシュ	1(100ms), 2(300ms), 3*(600ms)	管理者のみ
RF 送信電力－電話機本体	1(low), 2*(middle), 3(high)	管理者のみ
保留	00(auto-release disabled), 01 - 14,15*,16 - 99 minutes	管理者のみ
ボイスメール電圧検出－ ● 安定した高電圧、周期的な高電圧パルス と周期的な低電圧パルス検知方法 ● FSK 検知方法 ● パナソニック	0(disable), 1(enable)	管理者のみ
ボイスメール電圧検出－ ● 回線逆転方法	0 (disable), 1 (auto), 2(default 0), 3(default 1)	管理者のみ
ボイスメール電圧検出－ ● シーメンス	0 (disable), 1 (50Hz), 2(25Hz), 3(20Hz)	管理者のみ
スピードダイヤルナンバーの共有	0(disable), 1(enable)	管理者のみ

1. 着信音

電話機本体には 3 種類の着信音が割り当てられています。

着信音の変更方法：

- 電話機本体のフェイスプレートを外し、PROGRAM を押します。正しく押されるとビーブ音が鳴ります。
- 00 をダイヤルすると、三回ビーブ音が鳴ります。ダイヤルキーの 1、2、または 3 を押して希望の着信音を選択して下さい。選択後、ビーブ音が鳴り、設定の完了をお知らせします。

2. フラッシュ (Flash)

電話機本体には 3 種類のフラッシュ間隔のパターンが割り当てられています。

フラッシュ間隔の変更方法：

- 電話機本体のフェイスプレートを外し、PROGRAM を押します。正しく押されるとビーブ音が鳴ります。
- FLASH を押し三回ビーブ音が鳴るのを確認した後、ダイヤルキーの「1」(100ms)、「2」(300ms)、または「3」(600ms) を押して希望のフラッシュの間隔を選択して下さい。選択後、ビーブ音が鳴り、フラッシュの間隔が変更されたことをお知らせします。

3. RF 伝送の電源

RF 伝送の電源を 3 つのオプションからお選びいただけます。

RF 伝送の電源の制御レベルの変更方法：

1. 電話機本体のフェイスプレートを外し、PROGRAM を押します。正しく押されるとビーブ音が鳴ります。
2. 01 とダイヤルし、三回のビーブ音を確認して下さい。「1」（低—最大作動距離の 25%の受信範囲）、「2」（中—最大作動距離の 50%の受信範囲）、または「3」（高—最大作動距離の 100%の受信範囲）からご希望の値をダイヤルして下さい。選択後、ビーブ音が鳴り、設定が変更されたことをお知らせします。

4. 保留

保留中のタイムアウトの長さは 01 から 99 分までプログラムすることが可能です。00 を選択すると保留機能を無効にすることができます。

保留のタイムアウト期間の変更方法：

1. 電話機本体のフェイスプレートを外し、PROGRAM を押します。正しく押されるとビーブ音が鳴ります。
2. 02 を選択し、三回のビーブ音を確認して下さい。ダイヤルキーで 00 から 99 分の間で設定して下さい。選択後、ビーブ音が鳴り、設定が変更されたことをお知らせします。

5. ボイスメールの電圧検知

以下のようなボイスメールの電圧検知の方法から設定することができます。

ボイスメールの電圧検知を無効にする：

1. 電話機のフェイスプレートを取り外して下さい。
2. PROGRAM を押し、100 をダイヤルする。
3. PROGRAM を押し、110 をダイヤルする。
4. PROGRAM を押し、120 をダイヤルする。
5. PROGRAM を押し、130 をダイヤルする。
6. PROGRAM を押し、140 をダイヤルする。

ボイスメールの電圧検知の設定：

（安定した高電圧、周期的な高電圧パルス、及び周期的な低電圧パルスによる検知方法）

1. 前述の 1 から 6 のステップに従い、ボイスメールの電圧検知を無効にして下さい
2. PROGRAM を選択して下さい。
3. 10 をダイヤルし、ビーブ音が三回の鳴るのを確認した後、1 をダイヤルして設定を有効にして下さい。ビーブ音が鳴れば設定完了です。

逆回線方法によるボイスメールの電圧検知の設定：

1. 前述の 1 から 6 のステップに従い、ボイスメールの電圧検知を無効にして下さい。
2. 電話機へのボイスメールの信号を無効にして下さい。
3. PROGRAM を選択して下さい。
4. 11 とダイヤルしビーブ音が三回鳴るのを確認した後、1（auto）をダイヤルして下さい。設定の完了を知らせるビーブ音が流れます。
5. ハンドセットを上げて発信音を確認して下さい。3 秒後、ハンドセットを置いて下さい。

6. 約 15 秒後に MESSAGE WAITING LED が消灯します。その後、電話機へのボイスメールの信号を有効にして下さい。
7. 約 15 秒後、MESSAGE WAITING LED が点灯しますので、電話機へのボイスメールの信号を無効にして下さい。更に 15 秒後、MESSAGE WAITING LED が消灯すれば、設定が完了します。

上記の方法で設定が失敗した場合、以下のステップで設定を行って下さい。

1. 前述の 1 から 6 のステップに従い、ボイスメールの電圧検知を無効にして下さい。
2. 電話機へのボイスメールの信号を無効にして下さい
3. PROGRAM を押して下さい。
4. 11 をダイヤルし、三回のビープ音を確認した後、2 (default 0) または 3 (default 1) をダイヤルすると、更にビープ音が鳴ります。約 15 秒後に MESSAGE WAITING LED が点灯した場合、上記のステップのもう一方の方法で試して下さい。
5. 約 15 秒後に MESSAGE WAITING LED が消灯しますので、電話機へのボイスメールの信号を有効にして下さい。
6. 約 15 秒後に MESSAGE WAITING LED が点灯しますので、電話機へのボイスメールの信号を無効にして下さい。ボイスメールシグナルが無効になります。更に、約 15 秒後に MESSAGE WAITING LED が消灯し、設定が完了します。

FSK 検知方法によるボイスメールの電圧検知の設定：

1. 前述の 1 から 6 のステップに従い、ボイスメールの電圧検知を無効にして下さい。
2. PROGRAM を押して下さい。
3. 12 をダイヤルし、三回のビープ音を確認して下さい。1 をダイヤルして設定を有効にし、完了を知らせるビープ音を確認して下さい。

シーメンス検知方法によるボイスメールの電圧検知の設定：

1. 前述の 1 から 6 のステップに従い、ボイスメールの電圧検知を無効にして下さい。
2. 電話機へのボイスメールの信号を無効にして下さい。
3. PROGRAM を押して下さい。
4. 13 をダイヤルし、三回のビープ音を確認して下さい。1 (50Hz)、2 (25Hz)、又は 3 (20Hz) を選択し、設定の完了を知らせるビープ音を確認して下さい。
5. 約 15 秒後に MESSAGE WAITING LED が消灯するので、ボイスメールの信号を有効にして下さい。15 秒経っても、MESSAGE WAITING LED が消灯したままの場合、他の設定でもう一度上記の設定を行って下さい。
6. 電話機へのボイスメールの信号を無効にして下さい。設定が完了すると約 15 秒後に、MESSAGE WAITING LED が消灯します。

パナソニック検知方法によるボイスメールの電圧検知の設定：

1. 前述の 1 から 6 のステップに従い、ボイスメールの電圧検知を無効にして下さい。
2. PROGRAM を押して下さい。
3. 14 をダイヤルするとビープ音が三回鳴りますので、1 をダイヤルし、設定を有効にして下さい。設定が完了すると、再びビープ音が鳴ります。

6. Speed Dial keys (CTM-A2411)

CTM-A2411 の電話機本体には、最大 11 パターンのプログラミング可能なゲストサービスキー (Speed Dial keys) があり、自動ダイヤル又は電話システムの機能を開始する設定ができます。

電話機本体の Speed Dial keys の設定の方法：

1. フェイスプレートとカバーを取り外し、PROGRAM を押して下さい。
2. 電話番号の設定を行う Speed Dial key を押すと、ビープ音が三回鳴ります。
3. 登録をする電話番号を入力して下さい。最大で 32 桁まで設定できます。
電話番号に休止を入れる場合は PAUSE を押して下さい。
4. 入力が終わったら PROGRAM を押して下さい。(32 桁入力した場合は自動で設定されます。) 設定されるとビープ音が鳴ります。

電話機本体の Speed Dial keys の解除の方法：

1. フェイスプレートとカバーを取り外し、PROGRAM を押して下さい。
2. 設定の解除を行う Speed Dial keys を押すと、ビープ音が三回鳴りますので、再度 PROGRAM を押して下さい。解除が完了するとビープ音が鳴ります。

CTM-A2411 コードレスハンドセットは 3 つの設定可能なキーがあり、自動ダイヤルの設定または電話機の機能を利用することができます。ハンドセットの設定についても、電話機本体の操作にて設定を行います。

コードレスハンドセットの MESSAGES の設定方法：

1. 電話機本体のフェイスプレートとカバーを取り外し、PROGRAM を押して下さい。
2. 60 とダイヤルすると、ビープ音が三回鳴ります。
3. 登録をする電話番号を入力して下さい。最大で 32 桁まで設定できます。
 - 電話番号に休止を入れる場合は PAUSE を選択して下さい。
4. 入力が終わったら PROGRAM を押して下さい。(32 桁入力した場合は自動で設定されます。) 設定されるとビープ音が鳴ります。

コードレスハンドセットの MESSAGES の解除方法：

1. 電話機本体のフェイスプレートとカバーを取り外し、PROGRAM を選択して下さい。
2. 60 とダイヤルすると、ビープ音が三回鳴ります。
3. 再度 PROGRAM を押して下さい。設定されるとビープ音が鳴ります。

コードレスハンドセットの Speed Dial keys の設定の方法：

1. 電話機本体のフェイスプレートとカバーを取り外し、PROGRAM を押して下さい。
2. 電話番号を登録したい Speed Dial keys に合わせて、61 又は 62 (61 は REDIAL の下にある Speed Dial key、62 は MUTE の下にある Speed Dial key) をダイヤルして下さい。ビープ音が三回鳴ります。
3. 電話番号を入力して下さい。最大で 32 桁まで設定できます。
電話番号に休止を入れる場合は PAUSE を選択して下さい。
4. 入力が終わったら PROGRAM を押して下さい。(32 桁入力した場合は自動で設定されます。) 設定されるとビープ音が三回鳴ります。

設定した Speed Dial keys の解除の方法：

1. 電話機のフェイスプレートとカバーを取り外し、PROGRAM を選択して下さい。
2. 電話番号を解除したい Speed Dial key に合わせて、61 又は 62（61 は REDIAL 下の Speed Dial key、62 は MUTE 下の Speed Dial key）をダイヤルして下さい。ビープ音が三回鳴ります。
3. 再び、PROGRAM を押して下さい。設定されるとビープ音が鳴ります。

コードレスハンドセットと電話機本体の使い方

コードレスハンドセットと電話機本体は同一の通話で同時に利用できませんが、コードレスハンドセットと電話機本体のスピーカーフォンで切り替えをすることができます。

コードレスハンドセットまたは電話機本体で通話中の場合、コードレスハンドセットの TALK と電話機本体の IN USE LED が点灯します。

1. 着信への応答

着信すると電話が鳴り、本体の IN USE LED と MESSAGE WAITING LED 及び、コードレスハンドセットの TALK が点滅します。

コードレスハンドセットが電話機本体や充電器に置かれていない場合の受電方法：

コードレスハンドセットの TALK 又は SPEAKER を押して下さい。通話中は TALK が点灯します。スピーカーモードの場合 SPEAKER が点灯します。

コードレスハンドセットが電話機本体又は充電器に置かれている場合の受電方法：

電話機本体または充電器からコードレスハンドセットを持ち上げて下さい。TALK が点灯します。

電話機本体での受電方法：

電話機本体の SPEAKER を押して下さい。IN USE LED と SPEAKER が点灯します。

2. 発信方法

CTM-A2411 コードレスハンドセットでの発信方法：

コードレスハンドセットの TALK 又は SPEAKER を押して下さい。発信音を確認してダイヤル、又は電話機本体やコードレスハンドセットの Speed Dial key を選択して下さい。使用中の場合、TALK が点灯します。スピーカーフォンでのご利用の場合は SPEAKER が点灯します。

電話機本体での発信方法：

電話機本体の SPEAKER を選択して下さい。発信音を確認してダイヤル、又は Speed Dial key を選択して下さい。通話中は IN USE LED と SPEAKER が点灯します。

3. 通話終了

コードレスハンドセット使用時の通話終了の方法：

コードレスハンドセットの OFF ボタンを押すか、コードレスハンドセットを電話機本体か充電器に戻すと通話が終了します。

電話機本体使用時の通話終了方法：

SPEAKER を押して下さい。

4. コードレスハンドセットと電話機本体のスピーカーフォン間の切り替え方法

- コードレスハンドセットから電話機本体へ切り替えるには、電話機本体の **SPEAKER** を押して下さい。
- 電話機本体のスピーカーからコードレスハンドセットに切り替えるには、
 - ①ハンドセットが電話機本体や充電台上ある場合：ハンドセットを持ち上げて下さい。
 - ②ハンドセットが電話機本体や充電台上にない場合：TALK か **SPEAKER** を押して下さい。

5. コールの共有

最大で 4 つのコードレスハンドセットが一度に 1 つの外線通話に利用できます。

通話に加わるには、通話に加わるコードレスハンドセットの TALK か **SPEAKER** を押して下さい。

6. ハンドセットスピーカーフォン

通話中、コードレスハンドセットの **SPEAKER** を押す事で、ハンドセットのスピーカーフォンモードと受話口モードを切り替えられます。

7. リダイヤル

コードレスハンドセット及び電話機本体のリダイヤル番号は 15 分間記憶されます。

コードレスハンドセットから最後にダイヤルした番号へのリダイヤル：

TALK 又は **SPEAKER** を押し、発信音を確認してからリダイヤルボタンを押して下さい。

電話機本体から最後にダイヤルした番号へのリダイヤル：

SPEAKER を選択し、発信音を確認してからリダイヤルボタンを押して下さい。

8. ボリューム

受話音量の調整がコードレスハンドセットと電話機本体できます。

ハンドセットの受話音量の調節：

- ハンドセットでの通話の際、**-/VOLUME/+** のボタンで音量の調節ができます。通話が終了すると音量は初期設定の音量に戻ります。
- 電話機本体での通話の際、**+/VOLUME** 又は **-/VOLUME** のボタンで音量を調節して下さい。通話が終了すると音量は初期設定の音量に戻ります。

電話機本体の着信音（ringer）の調整ができます。

電話機本体の着信音の調整：

電話機本体が待ち受け中の状態で、**+/VOLUME** 又は **-/VOLUME** のボタンで音量を調節して下さい。

9. 通話中の着信

1. 通話中に着信呼び出しの合図がある場合、コードレスハンドセット又は電話機本体のフラッシュボタンを押し、通話中の回線を保留にして着信した回線に切り替えて下さい。
2. フラッシュボタンを押すと、いつでも前後の通話を切り替える事が出来ます。

10. ミュート

マイク機能を消音する場合：

1. 通話中、コードレスハンドセット又は電話機本体の MUTE を押して下さい。選択されると、消音ボタンが点灯します。相手の音声は聞こえますが、こちらの音声は相手に伝わりません。
2. 再び MUTE を押し、会話を再開して下さい。ミュート機能が解除され、MUTE のランプが消灯します。

11. 保留

保留にする事で、すべてのハンドセットからその通話を取ることができます。

コードレスハンドセットでの保留：

1. コードレスハンドセットで通話中に、ハンドセット上の HOLD を押して下さい。通話は保留となり、コードレスハンドセットの TALK と電話機の HOLD が点滅します。
2. TALK 又は SPEAKER を選択することで、保留を解除できます。なお、あらかじめ設定した保留時間を超えた場合、通話は自動で終了します。

電話機本体での保留：

1. 通話中に、電話機本体の HOLD を押して下さい。通話は保留となり、HOLD が点滅します。
2. SPEAKER を押すと保留は解除されます。なお、あらかじめ設定した保留時間を超えた場合、通話は自動で終了します。

12. ハンドセットを探す

電話機本体に登録したハンドセットを探す方法

呼び出しの開始：

電話機本体が待ち受けの際、FIND HANDSET を押して下さい。待ち受け中の全てのコードレスハンドセットで、60 秒間呼び出し音が鳴ります。

呼び出しの終了：

電話機本体の FIND HANDSET を再度押すか、コードレスハンドセットのボタンをどれか一つ押して下さい。呼び出し音が止まります。

13. DATA port

モデムやファックス機を DATA port に接続することができます。

付録

1. ハンドセットバッテリー

バッテリーの充電には 16 時間かかります。充電が完了している場合、以下の通りに使用できます。

使用方法	稼働可能時間
ハンドセットの使用時（通話中*）	最長 7 時間
スピーカーフォンモード（通話中*）	最長 5 時間
待ち受け中（スタンバイ**）	最長 7 日間

*稼働可能時間は使用状況とバッテリーの使用期間によって変わります。

**ハンドセットが充電も通話もされていない状態

バッテリーの充電が必要な場合：

- ハンドセットに新しいバッテリーを取り付けた場合
- コードレスハンドセットの LOW BATTERY LED が点滅している場合

注意：

火災や怪我のリスクを回避するために以下の項目をご確認下さい。

- 純正のバッテリー (BT264392/BT266342) 又は交換用のバッテリー (BT266342) をご利用下さい。交換用のバッテリーのご購入は日本総代理店（[株式会社ソフツー](#)）までご連絡下さい。
- バッテリーは焼却しないで下さい。各自治体の廃棄方法をご確認下さい。
- バッテリーは解体しないで下さい。腐食性の電解液は、目や皮膚に付着すると傷害の恐れがあります。電解液は毒素が含まれるため、誤飲しないで下さい。
- 伝導性の素材でショートしないように注意をして下さい。
- バッテリーの充電には付属品を使用し、使用方法をご確認下さい。
- バッテリーと金属の接触部分の電極を確かめて充電して下さい。
- 発火や感電を防ぐため、水や蒸気などが製品に触れないようにして下さい。

2. トラブルシューティング

電話機の取り扱いにお困りの際は以下の方法をご確認頂くか、日本総代理店のソフトゥーにお問い合わせ下さい。

1. 電話機が作動しない。

- RJ-45 コードが正しく電話機本体の TEL ポートに接続されているかご確認下さい。
- 客室の電源スイッチと連動していないコンセントからの供給かご確認下さい。
- 電話線が電源アダプターとモジュージャックに正しく接続しているかご確認下さい。
- バッテリーが正しく設置され、十分に充電されているかご確認下さい。快適にご使用いただけるように、待ち受け中はコードレスハンドセットを電話機本体にお戻し下さい。
- 電話機本体の電源を切り、15 秒間後に再び接続して下さい。コードレスハンドセットと電話機本体のペアリングに 1 分程度かかります。
- コードレスハンドセットの充電を 16 時間行って下さい。
- 完全にバッテリーを使い切っている場合、コードレスハンドセットの **LOW BATTERY LED** が点滅するまでに 30 分程度かかります。
- バッテリーを一度取り外してから、再度取り付けて下さい。それでも改善されない場合、新しいバッテリーをご購入下さい。
- 電話機本体から電話線を取り外し、正常に作動する電話機に接続して下さい。他の電話機でも作動しない場合、電話事業者にご確認下さい。電話線又は電話事業者のサービスに問題がある可能性があります。別途、電話事業者への料金がかかる場合があります。

2. 発信音が聞こえない。

- 上記の項目をご確認下さい。
- コードレスハンドセットを電話機本体の近くに移動させるか、RF 伝送電源の設定を調整して下さい。電話機本体が受信できない範囲に設置されているある可能性があります。
- 電話線が故障している可能性があります。新しい電話線に取り換えて下さい。
- 電話機本体をモジュージャックから取り外し、他の電話機を接続して下さい。他の電話機でも発信音が聞こえない場合、電話線又は電話機事業者のサービスに問題がある可能性があります。電話事業者にご確認下さい。別途、電話事業者への料金がかかる場合があります。

3. ダイヤルできない。

- 上記の項目をご確認下さい。
- ダイヤル時に発信音が聞こえるかご確認下さい。コードレスハンドセットから発信音が聞こえるまで数秒時間がかかることがあります。問題はありません。数秒経ってからダイヤルして下さい。
- 周囲のノイズを取り除いて下さい。ダイヤルの前に消音するか、静かな部屋で再度ご確認下さい。
- ホテル内の別の電話機でも同様の症状がある場合、電話線又は電話事業者のサービスに問題がある可能性があります。電話事業者にご確認下さい。別途、電話事業者への料金がかかる場合があります。

4. コードレスハンドセットの **LOW BATTERY LED** が点滅する。

- コードレスハンドセットを電話機本体又は充電器にお戻し下さい。
- バッテリーを取り出し、再び取り付け、バッテリーを完全に使い切して下さい。その後コードレスハンドセットを電話機本又は充電器で 16 時間充電して下さい。
- 上記の方法で改善がみられない場合はバッテリーを交換して下さい。

5. コードレスハンドセットの充電ができない。

- コードレスハンドセットが電話機本体、又は充電器に正しく設置され、**CHARGE LED** が点灯するかご確

認下さい。

- バッテリーを取り外し、再び取り付け、**16 時間充電**して下さい。
- コードレスハンドセットが電話機本体又は充電機に設置しても **CHARGE LED** が点灯しない場合、次の「**6.CHARGE LED ランプが点灯しない**」をご確認下さい。
- バッテリーを使い切った状態の場合、最低 **30 分**の充電をしてからご使用下さい。
- 上記の項目を確認しても改善されない場合、バッテリーを交換して下さい。

6. CHARGE LED ランプが点灯しない。

- コードレスハンドセット、電話機本体、充電器の接触部分をふき取り充電して下さい。一か月に一回程度、消しゴム又は乾いた柔らかい布でふき取って下さい。
- 電源アダプターと電話線が正しく配線されているかご確認下さい。
- 電源アダプターを抜き、**15 秒後**に再び電源アダプターを差し込んで下さい。コードレスハンドセットと電話機本体が連動するまでに一分程度かかります。

7. 着信中に呼び出し音が鳴らない。

- 電話線と電源アダプターが正しく接続されているかご確認下さい。
- コードレスハンドセットが電話機本体から離れてシグナルが届かない状態になっている可能性があります。電話機本体の近くでご利用下さい。
- **RF 伝送電源**の設定をご確認下さい。シグナルが届いていない可能性があります。
- ホテル内の別の電話機でも同様の症状がある場合、電話線又は電話事業者のサービスに問題がある可能性があります。電話事業者にご確認下さい。別途、電話事業者への料金がかかる場合があります。
- 他の電化製品、アマチュア無線やその他のデジタルコードレス電話などが、干渉している可能性があります。その他の電化製品から離れた場所でご使用下さい。
- 正常に作動している電話機をモジュラージャックに接続してテストして下さい。他の電話機でも同じ症状の場合、電話事業者にご確認下さい。モジュラージャックに問題がある可能性があります。別途、電話事業者への料金がかかる場合があります。
- 電話線が破損している可能性があります。新しい電話線を接続してご確認下さい。
- バッテリーを取り外し、再び取り付け、電話機本体にコードレスハンドセットを設置して下さい。コードレスハンドセットと電話機本体が連動には一分程度かかります。

8. コードレスハンドセットからビープ音が鳴り、機能しない。

- 電源コードが正しく電話機本体に接続されているかご確認下さい。電話機本体を壁側の電源スイッチと連動しない他のコンセントを使用し、ご確認下さい。
- コードレスハンドセットを電話機本体の近くへ移動させ、**RF 伝送電源**の調整をして下さい。シグナルの受信圏外になっている可能性があります。
- 電話機本体の電源コードを抜いてリセットして下さい。**15 秒程度**経ってから再び電源アダプターを差し込んで下さい。コードレスハンドセットと電話機本体が連動するまでに一分程度かかります。
- 他の電化製品、アマチュア無線やその他のデジタルコードレス電話などが、干渉している可能性があります。その他の電化製品から離れた場所でご使用下さい。

9. 通話中の干渉、又は、通話が途切れる。

- コードレスハンドセットを電話機本体の近くへ移動させ、RF 伝送電源の調整をして下さい。シグナルの受信圏外になっている可能性があります。
- 電話線を通して高速インターネットアクセスが利用できる場合、DSL フィルター（DSL デジタル加入者線）を電話線とモジュージャックの間に設置することで解決できる可能性があります。ノイズと発信者番号サービスの不具合もこのフィルターで改善することがあります。DSL フィルターの詳細についてはサービス業者にご確認下さい。
- 電化製品、またはその他のコードレス電話と電話機本体を同じ電源に接続している場合、干渉が起こることがあります。電化製品とその他のコードレス電話は電話機本体と別の電源をご利用下さい。
- 他の電化製品、アマチュア無線やその他のデジタルコードレス電話などが、コードレスフォンに干渉している可能性があります。電話機はその他の電化製品から離れた場所でご使用下さい。
- 電話機がモデムやサージ保護装置に接続されている場合、電話機を別の場所で接続して下さい。別の場所でも不具合が解消されない場合は、電話機又はモデムをさらに離れた場所で接続するか、別のサージ保護装置をお使い下さい。
- 電話機を設置する場所によってコードレスフォンの機能が低下することがあります。電話機本体からのシグナルを十分に受信できるように壁やその他の障害となるようなものから離れた場所に設置し、電話機本体は客室の中央に設置するようにして下さい。
- 電話機本体をモジュージャックから取り外し、コード付きの電話機に接続して下さい。それでも音声クリアにならない場合はワイヤー又は電話サービスに問題がある可能性があります。電話事業者に問い合わせをしてご確認下さい。料金が発生する場合があります。
- ホテル内の他の電話機にも同様の問題がある場合、配線又は電話サービスに問題がある可能性があります。電話事業者に問い合わせをしてご確認下さい。料金が発生する場合があります。

10. 電話を使用中に他の通話が聞こえる。

- モジュージャックから電話機本体の電話線を取り外し、別の電話機本体をモジュージャックに繋いで下さい。それでも他の通話音が聞こえる場合、配線と電話業者のサービスに問題がある可能性があります。電話事業者に問い合わせをしてご確認下さい。料金が発生する場合があります。

11. コードレスハンドセットを使用中にノイズが聞こえ、ボタンが機能しない。

- 電話線がしっかりと接続されているかご確認下さい。

12. 電化製品の一般的なトラブルの解決策

電話機が正しく作動しない場合、コードレスハンドセットを電話機本体に戻して下さい。問題が解決されない場合は以下の手順でご確認下さい。

1. 電話機本体の電源をコンセントから取り外して下さい。
2. コードレスハンドセットのバッテリーを取り外して下さい。
3. 数分間、取り外した状態にし、再度電話機本体の電源をコンセントに差し込んで下さい。
4. 再度コードレスハンドセットのバッテリーを装着し、コードレスハンドセットを電話機本体に設置して下さい。
5. コードレスハンドセットと電話機本体が連動するまでお待ち下さい。一分程度で連動します。

3. 重要な留意点

本電話機は停電時の緊急電話としての対応はできません。緊急時は別の方法でご対応下さい。

4. 環境に配慮した留意点

- 直射日光を避けて下さい。
- 商品をカーペットやその他の繊維でできた場所、空調設備がない部屋には設置しないで下さい。
- 商品を水没させることや浴室のような湿気の多い場所でのご使用は避けて下さい。
- 商品を炎、爆発物、又はそのほかの危険な環境下にさらさないで下さい。
- 雷雨の間は電話機の使用を避けて下さい。落雷による感電の恐れがあります。

5. 製品の廃棄方法

一般ごみとしての廃棄ができません。代理店に廃棄方法を確認するか、各地域のごみの分別方法に従い処理をして下さい。廃棄物や事業廃棄物と分別して廃棄して下さい。環境に配慮し、リサイクルにご協力ください。

6. 技術的な情報

比吸収率 <Specific Absorption Rate (SAR)>

本機の比吸収率は 0.03W/kg であり、WHO が定める電波の危険度に関する国際安全要求（2W/kg）を満たしています。

R&TTE

本設備は無線機器と通信端末装指令 199/5/EC に従っています。

適合検査の申告

これによって、VTech はアナログコンテンポラリーシリーズが法令の必須条件と 1999/5/EC (R&TE)及び 2002/95/EC (ROHS)を含むその他の法令に従うことを宣言します。

7. メンテナンス

本機は精緻な電化製部品で構成されています。お取り扱いには十分お気を付け下さい。

- 手荒な扱い方を避けて下さい。
ハンドセットは静かに置いて下さい。購入時の梱包材を保管し、電話機の輸送時にお使い下さい。
- 水濡れを避けて下さい。
水濡れで電話機が故障することがあります。ハンドセットの雨天時の屋外での使用、濡れた手で使用することは避けて下さい。電話機をシンク、浴槽、及びシャワーの付近に設置しないで下さい。
- 雷雨時の対応
雷雨はサージの原因となることがあり危険です。安全のため、雷雨時の電化製品のお取り扱いにはお気を付け下さい。
- お手入れの方法
電話機は耐久性のあるプラスチックで覆われています。お手入れの際は柔らかい布で水又は中性洗剤をご使用下さい。大量の水や洗浄溶剤はお避け下さい。
電化製品は水に濡れると危険です。本機が水没した場合、壁側の電源及び電話線を抜いてから電話機を取り出し、電話機側のコードを取り外して下さい。